

## 令和3年度小中一貫教育推進計画書

|                |                      |
|----------------|----------------------|
| 中学校区名          | 和庄中学校区               |
| 代表者所属校<br>校長氏名 | 呉市立本通小学校<br>校長 曾根 智恵 |

## 1 目指す児童生徒像

自ら考え判断し、自主的・主体的な行動ができる児童生徒

## 2 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

| 資質・<br>設定し<br>能力 | 知識及び技能  | 思考力、判断力、表現力等   | 学びに向かう力、人間性等  |
|------------------|---|--|---|
|                  | 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力  | 主体性・積極性   |
| 後期               | 知識及び技能を確実に習得し、新たな知識や技能を既得の知識及び技能と関連付けながら他の学習や生活の場面で活用することにより深く理解することができる。 | 習得した知識や技能を活用したり、相互に関連付けたりしながら、問題発見・解決につなげたり、考えを表現したり、伝え合ったり、理解したり、形成したりしている。 | 自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組み、探究的に課題解決への挑戦をしようとしている。 |
| 中期               | 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、新しい知識や技能を既得の知識及び技能と関連付けながら他の学習や生活の場面で活用することができる。    | 習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用して、問題発見・解決につなげたり、考えを表現したり、伝え合ったり、理解したり、形成したりしている。        | 自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組もうとしている。                 |
| 前期               | 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、他の学習や生活の場面で活用することができる。                              | 習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用して、問題発見・解決につなげたり、考えを表現したり、伝え合ったり、理解したりしている。              | 自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、粘り強く取り組もうとしている。                        |

## 3 研究主題と設定理由

## (1) 研究主題

主体的に学び、思考を働かせ表現する児童生徒の育成

## (2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、呉市の中心部に位置し、繁華街を含む商業地域と古くからの住宅街があるため、児童生徒を取り巻く状況は多様化している。保護者や地域の学校への関心は高く、PTAや地域の交通安全推進活動等、教育活動に対する理解や支援がある一方、一部の家庭

環境及び教育力に大きな格差が生じている。また、本中学校区の児童生徒は、学んだことを発展させ、さらに次の課題を見つけて主体的に学びを深めようとするところに課題がみられる。

そこで、本中学校区では、“育成を目指す資質・能力”として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・積極性」の3つを設定し、研究主題である“主体的に学び、思考を働かせ表現する児童生徒の育成”の具現化を図ることにした。

授業では、「和庄中学校区授業モデル」を活用していく。

具体的には、授業の導入部分で、前時までの学習を基に授業への見通しをもたせ、考えたい課題設定を行う。

授業の展開部分の学び合いの場では、教師が一方向的に説明したり、一部の児童生徒が意見を出すことで授業が進んだりする傾向がみられた。児童生徒全員の思考を深めることができにくかったことの改善をするために、発問の工夫や思考ツールを活用する等、思考を働かせるための手立ての充実を図る。

終末では、視点を与えた「今日のなるほど」「明日のために」で、深い学びを自覚させ、次時の課題につながるようにしていく。

また、カリキュラムマップに9年間を見通した防災教育を位置づける。

以上のことを通して、目指す児童生徒像「自ら考え判断し、自主的・主体的な行動ができる児童生徒」の育成を目指していく。

#### 4 研究内容

##### (1) 小中一貫教育推進委員会

- ・ 和庄中学校区における小中一貫教育の在り方
- ・ 研究テーマ，めざす児童生徒育成のための授業づくり
- ・ 研究の成果と課題分析，発信，広報活動

##### (2) 各部会による研究

年間3回の部会を開催し、部会の中で、目指す児童生徒育成のための授業研究、児童生徒の実態に即した教育活動の充実を図る。

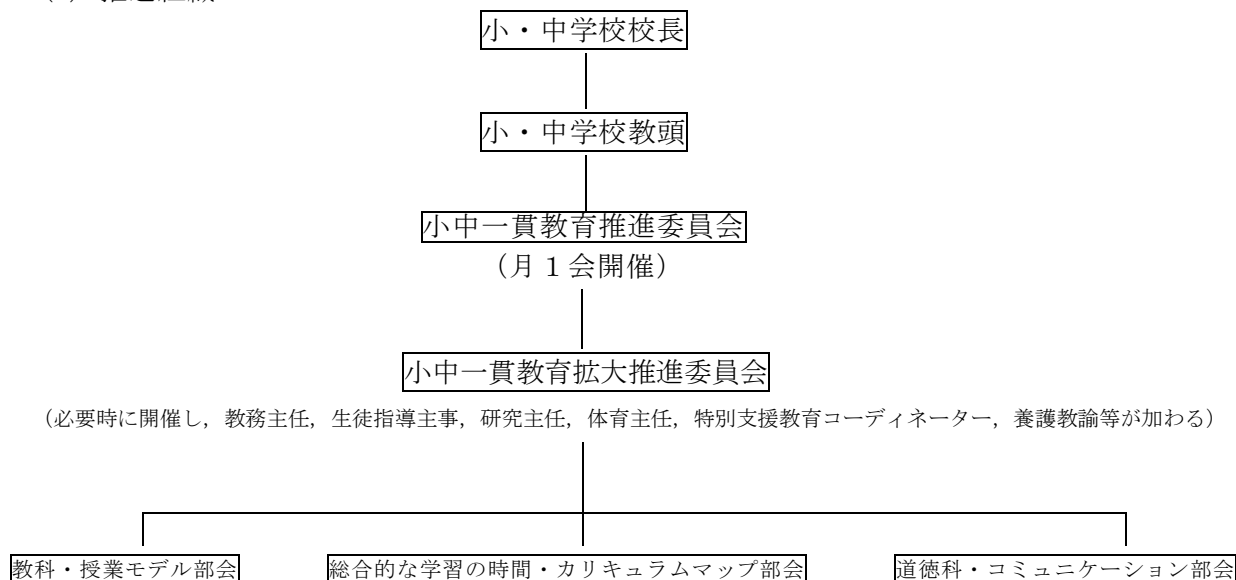
|                        |  |
|------------------------|--|
| 教科・授業モデル               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究の実施・分析</li> <li>・ 授業モデルの浸透と活用</li> </ul>              |
| 総合的な学習の時間<br>カリキュラムマップ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究の実施・分析</li> <li>・ 総合的な学習の時間のカリキュラムマップ改善と実践</li> </ul> |
| 道徳科<br>コミュニケーション       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究の実施・分析</li> <li>・ 実態把握のためのアンケートの実施・検証</li> </ul>      |

### (3) 小中一貫の取組

「生徒指導規程」「和庄中学校区授業モデル」「呉市小学校陸上記録会合同練習会」「小中合同クリーン活動」

## 5 推進体制

### (1) 推進組織



### (2) 一部教科担任制実施計画

#### ア 乗り入れ授業（中→小，小→中）

##### ① 中学校から小学校への乗り入れ授業

- ・ 外国語科 5・6年生 各校週2時間ずつ実施
- ・ 体育科 6年生 各校2学期に1回ずつ実施（陸上記録会前）
- ・ 算数科 6年生 各校3学期に1回実施
- ・ 音楽科 5年生 各校3学期に1回実施

##### ② 小学校から中学校への乗り入れ授業

- ・ 中学校補習授業 夏季休業中に実施

#### イ 小学校教科担任制等

和庄小（理科・家庭科・外国語・書写）

本通小（音楽・図画工作・家庭科・書写）

長迫小（音楽・家庭科・図画工作・書写）

## 6 見込まれる成果及び検証方法

### (1) 見込まれる成果

目指すべき3つの資質・能力について、各部会で取組を進める。「和庄中学校区授業モデル」を活用し、研究を推進することにより、主体的に学び、思考を働かせ表現する児童生徒の育成を行うことができる。

## (2) 検証方法

- ・ 和庄中学校区小中一貫教育全体会での研究協議（各部会）
- ・ 地域公開の成果と分析
- ・ 小中交流授業や合同行事における児童生徒の行動観察，アンケート調査
- ・ 各学校における授業・生活等アンケート調査
- ・ 学力調査

## 7 推進計画

| 月日            | 内 容  |
|---------------|--|
| 4/14（水）       | 和庄中学校区小中一貫教育第1回推進委員会（本通小）                                  |
| 6/25（金）       | 第1回和庄中学校区小中一貫教育全体会・部会（本通小） 授業研究<br>指導助言者 安田女子大学文学部 教授 田中宏幸 |
| 夏季休業中         | 中学校補習授業（和庄中）   |
| 9/8（水）        | 第2回和庄中学校区小中一貫教育全体会・部会（和庄中） 授業研究<br>和庄中学校区小中一貫教育地域公開        |
| 10/25・26（月・火） | 呉市小学校陸上記録会合同練習会（本通小）                                       |
| 未定            | オープンスクール（和庄中） 学校案内，授業及び部活体験                                |
| 12/6（月）       | 小中合同クリーン活動   |
| 2/18（金）       | 第3回和庄中学校区小中一貫教育全体会・部会（本通小） 授業研究<br>指導助言者 安田女子大学文学部 教授 田中宏幸 |
| 3月末           | 和庄中学校新入生小中連携会（和庄中）   |

## 8 その他

### (1) 小中合同行事について

- ・ 母校でのあいさつボランティア活動（6月，11月の年2回）
- ・ 小中合同クリーン活動（12月）

### (2) 小中一貫だよりについて

- ・ 和庄中学校区通信（年間4号の発行）